

第1回小野市学校適正規模・適正配置検討委員会議事録【要旨】

1. 日時 令和8年7月29日【水】19時00分～21時00分

2. 場所 小野市役所 2階 2-1会議室

3. 出席した者【構成員】の氏名

森田啓之委員、近藤 裕委員、山本真悠子委員、森田史生委員
青木美和子委員、小林教子委員、田中義三委員、安井利光委員、
委員8名【欠席：中村ふさ子委員】

事務局：小西教育長、入江部長、藤井部長、松田課長、玉井

4. 協議結果

【1】学校施設適正規模・適正配置検討委員会について
事務局から要綱を説明

【2】会長の選出について
森田啓之委員を会長に選出 承認

【3】児童数の現状と今後の推移等

【4】学校適正規模・適正配置の考え方

【5】アンケート内容の検討

未就学児の保護者は、学校に入学しておらず、「学級規模などは分からない」という意見もあると想定し、回答の選択肢に「分からない」を設ける。

依頼文や設問の内容が、統廃合の方向性を示唆しているように受け取られる可能性がある。より中立的な表現や説明を心がける必要がある。

アンケート依頼文、アンケートを修正し、各委員に送付する。各委員から意見、コメントをいただきアンケートを実施する。

【6】今後の予定

9月保護者アンケート、教職員アンケートを実施

5. 各委員の主な意見

(1) 学校適正規模・適正配置に関する意見

- ・複式学級になる可能性がある小学校については、校区外の地域からも学校を選択できるようにしてはどうか。
- ・小規模校同士を寄せるということも考えられる。そのためにスクールバスを検討してはどうか。

- ・統合した場合の課題としてスクールバスにかかる予算がどうなるのか？
- ・閉校した学校の活用や災害時の避難所としての機能をどうするのか？
- ・児童数が少ない学校では合同授業をオンラインで実施してはどうか。
- ・地域の方々に理解をいただきながら、学校の適正規模を考えるべき。
- ・2つの学校を統合して、新しい学校を作ることは費用的に難しいのか？

(2) 保護者アンケートに関する意見

- ・未就学児の保護者の方は、1クラスの望ましい人数は分からない。
- ・アンケート依頼文に小規模校のメリット・デメリット、複式学級の課題が書かれており、小規模校に視点を置いた書き方になっている。そのため、依頼文を読まれた方は、市として「統合」という方向で考えていると感じられる。

6. 決定事項

- ・9月に保護者アンケート、教職員アンケートを実施する。
- ・アンケート結果を集約し第2回検討委員会を開催する。
- ・次回検討委員会 令和8年11月